

国際発信に関する参考資料

国際的な大学評価活動の展開状況や
我が国の大学に関する情報の海外発信の観点から
公表が望まれる項目の例

平成22年5月12日
国際的な大学評価活動に関するワーキンググループ

1. 基本的考え方

質保証システム部会において検討中の大学の教育に関する情報の積極的な公表の在り方については、①大学の教育力の向上、②大学教育の国際競争力の向上、③教育サービスの享受者である学生や費用負担を負う保護者に対する情報開示責任の3つの観点を基本的な考え方としつつ、検討が進められている。

近年、国際的な大学評価活動が活発に展開する中、我が国の大学が積極的に自らの教育研究活動を発信するか否か、あるいはどのような情報を発信していくかが、各大学の国際的な評価や国際競争力を決定する大きな要素となっている。このような中、各大学が積極的に情報を発信しなければ、優秀な学生の獲得のみならず、国内外の大学との組織的・継続的な教育連携関係の構築も困難な状況になりつつあり、早急な対応が求められている。

大学が情報を公表していくことによる効果は大きな潜在力を有している。例えば大学が特定の学問分野や国際化・地域貢献といった観点において情報を戦略的に公表・発信していくことにより、優秀な学生や教員の獲得に寄与することができれば、一層国内外にアピールできる情報を公表・発信できるようになる。こうした好循環の形成を通じて、当該分野における拠点の形成にも大いに貢献し得るものと考えられる。

以上の考え方に基づき、本ワーキンググループとしては、国際的な活動に特に重点を置く大学は、第8回質保証システム部会における「大学の教育に関する情報の積極的な公表に関する論点整理」（以下「論点整理」という。）に示された「情報の公表が必要な主要項目」を、全て何らかの形で公表すべきと考えるが、加えて以下の項目について、これらの大学の任意ではあるが、出来る限り積極的に発信していくことが考えられる。情報の発信に当たっては、大学全体の情報に加え、学問・研究分野等ごとの情報もあわせて公表することが望まれるとともに、これらの情報をできる限り英語を含む外国語で発信し、こうした情報が海外の大学を含む他大学との間で、分かりやすく比較可能にすることに留意が必要である。

なお、これらの情報発信は各大学のみにおいて行われるべきものではなく、我が国全体の大学教育の状況や、公的な質保証システム等については、国が責任をもって海外に情報を発信していくことが求められる。文部科学省においては、先般、我が国の公的質保証システムの概要や大学設置基準の英訳試案等を示した英文パンフレットを作成したところであるが、このような取組をさらに強化すべきである。

2. 国際的な活動に特に重点を置く大学において公表が望まれる項目の例

(1) 教育活動の規模や内容等

「論点整理」に示すとおり、当該学科や専攻ごとの教育目的、教育課程の基本的考え方や概要、修得が期待される知識・能力体系、学修の成果に係る評価及び卒業の認定の基準は、いずれも重要な項目である。実際、一般に学生が留学を検討する際は、自らの適性や関心ある専攻分野、国・地域などを勘案しながら、行き先となる国や大学を並行して検討するものと考えられる。その際、著名な教員や世界的な研究拠点の存在、優れた教育プログラムの提供など、教育研究の実績に関する情報が重要な判断材料となるものと考えられる。

その一方で、個々の教員や教育研究活動は、その分野や規模、実施手法等においても、極めて多種多様に行われているのが実情である。このような状況で、一定の定量的な評価指標として、論文の数及び引用状況、学位授与数をはじめ、各大学の教育活動の規模や内容、水準等を示す指標や取組みについて、積極的に公表していくことが考えられる。その際、国際的に評価の高い大学と遜色ない教育活動が提供されていることが明確に伝わるようカリキュラムの内容や成績評価の基準等についても情報の提供が求められるとともに、国際的な水準と乖離している場合には、国際的に評価が得られるよう見直すことも求められる。

また、これらの指標や取組みを含め、各組織や学問分野における状況が分かるような情報を整理して発信することや、分かりやすい情報提供の観点から、ベンチマーキングの手法を活用した項目の整理や分析を発信することも有用であるものと考えられる。

大学における教育活動に関する基本情報として、各大学の戦略や実情に応じ、例えば以下のような情報を提供することが考えられる。

①学生に関する基本的な情報

学生に関する情報を積極的に公表・発信していくことは、内外の優秀な学生を獲得する観点で重要であるのみならず、当該大学の教育の成果を示す観点からも重要である。

中でも、学位授与数については、近年の国境を超えて展開する高度かつ多様な知的活動や、人材・技術等の知的資産をめぐる国際競争の激化等を踏まえると、我が国の大学が適切な質保証が図られていることを前提に、修士や博士などの高度な学位を多く授与していることが、留学生にとって大きな魅力となるものと考えられる。

また、退学者の状況については、単にその数の多寡により教育の質を判断できるものではなく、公表されている情報を総合的に勘案すべきものであることに留意が必要である。

(項目例)

- ・教員当たり学生数（フルタイムとパートタイム教員）
- ・各授業の平均学生在籍数
- ・卒業率（修業年限期間及び修業年限期間以降に卒業する学生の割合）
- ・退学者の状況（他大学等に転学した者がいる場合は、その内訳を表記するなど大学・分野等の特性を踏まえた説明や理由を付す。）
- ・卒業後の進路状況（就職先や進学先、資格取得の状況等）
- ・学位授与数

②明確な方針に基づく教育課程とその水準

(項目例)

- ・修得すべき知識・能力の明確化と、それを体系的に修得できる教育課程
- ・計画的な履修方針に基づいた授業科目名や、その体系（いわゆるナンバリング）とシラバス（学内の関連する学問分野で共通化）
- ・インターンシップの機会や交換留学、海外研修等の提供状況
- ・単位認定、学位認定、成績評価の基準（大学として統一方針）
- ・上記に基づく学修成果を明示するのにふさわしい学位と専攻分野の名称

③外国人教員数

外国人教員数については、我が国大学において外国人教員の占める割合が少ないことが、知の基盤たる人材の幅を狭めているのみならず、日本の大学に対する国際的な評価を低めているとの指摘もある。こうした人材を積極的に登用することは、国際的な人材の還流の一翼を担う効果もあることを踏まえ、国際的な競争環境にある大学については、外国人教員数を公表することが重要であるものと考えられる。

その場合、海外において通算して1年以上教育研究に従事した、または国外で学位を取得した日本人教員の在籍状況などの情報をあわせて提供することも有益であるものと考えられる。

④研究成果の生産性や水準

近年影響力を増しつつある国内外の定評ある国際比較においては、論文の数や被引用の状況を含む、様々な研究成果の生産性や水準が大きな位置づけを占めている。

これらの状況については、各大学における教育研究の機能の度合いや、各教員の学問分野の構成等によって大きく異なっており、一概にその多寡をもって優劣を判断すべきものではないが、各大学の教育研究活動における影響力や活発度を測る上で有益な指標の一つであり、例えば以下のような項目について情報を公表することが考えられる。また、特に論文被引用率の高い研究者や、国際的に権威のある賞を受賞した研究者、あるいは影響力のある国内外の学術誌等への掲載事例等について詳細に情報発信を行うことも考えられる。

(項目例)

- ・論文数・論文被引用数
- ・研究活動の活発さや優れた研究成果を示す指標（特許数やベンチャー、スピンオフ等）
- ・海外研究機関との共同研究・連携に関する情報
- ・研究に要したインプット（大学の総収入と研究費等）

⑤教育外部資金の獲得状況

各大学が教育活動を展開する上で、科学研究費補助金や国公立大学を通じた大学教育改革の支援事業、その他の競争的資金を含む各種の外部資金は重要な役割を果たしている。これらの資金は、大学の教育目標に応じた支援や、個々の研究者による自由な発想に基づく教育研究活動の支援など、多様できめ細かな支援が行われており、また、その採択に当たっても、専門分野の近い複数の研究者によるピアレビューや、第三者委員会による審査などを通じて、各大学の教育研究活動の裾野の拡大を図り、持続的な教育研究の発展と重厚な知的蓄

積の形成に資するという役割を果たしている。したがって、これらの外部資金の採択状況は、当該大学における教育の厚みを示す指標ともなり得ることから、重要な要素として情報を公表することが考えられる。その際、外部資金による奨学金の設定や表彰制度の創設等、獲得した学部資金を学生の教育にどのように活用しているかなどの情報をあわせて提供することも有益と考えられる。

（２）教育の国際連携

我が国の大学が海外に情報発信をしていくに当たり、海外のどのような大学と協定等を締結し、単位互換や教員・学生交流、ダブル・ディグリーのような組織的・継続的な教育連携関係を構築しているかについては、学生や教員をはじめとする関係者にとって重大な関心事項となっている。特に近年は、欧州におけるボローニャ・プロセスをはじめ、大学教育の質保証を伴う域内の大学間交流の枠組みを整備しようとする動きが活発になる中、個々の大学間の競争ではなく、共同で質の高い教育プログラムを提供しようとする試みが見られるようになってきている。

このような中、我が国の大学として、海外の大学との組織的・継続的な教育連携関係について積極的に情報を発信していくことが望まれる。具体的には、下記のような項目について情報を公表することが考えられる。

（項目例）

- ・協定を締結している海外の大学
- ・上記大学との教員・学生交流や単位互換、ダブル・ディグリー・プログラム等の実績を示す指標
- ・国内外の大学によるネットワークへの参加状況 等

（３）大学の戦略

大学が国内外に情報を公表するに当たっては、第一に大学が自ら追求する機能別分化や国際化等の戦略としての目標や、当該目標を達成するための具体的計画設定し、これを不断に評価して更なる取組に繋げることが重要であるが、国立大学については中期目標・中期計画などが策定されているものの、全般として目標・計画の設定については、定性的なものが多く、検証が容易な数値目標等の設定が少ないとの指摘もある。

したがって、大学のアカウンタビリティを果たす観点からも、まず明確な目標を設定し、当該計画とともに公表することが望まれる。また、こうした計画策定には比較すべき他大学の情報も必要なことから、後述するように、他大学の情報を収集・分析できるIR（Institutional Research）機能を充実していくことも考えられる。

（４）留学生への対応

留学生への対応は、グローバル化が進む大学の教育研究力や経営力を把握するためのみならず、各大学がどの程度積極的に取り組んでいるかを明らかにするためにも、重要な情報となり得るものである。海外の留学生は日本の学生に比して圧倒的に情報量が限られているとともに、そのニーズは多様であることから、こうしたニーズに合った内容や手段により、情報が積極的に提供されることは重要である。

具体的な対応については、昨年政府が策定した「留学生30万人計画」においても、留学

生の受入れについて、我が国への留学についての関心を引き起こす動機づけから、入試・入学・入国の入り口から大学等や社会での受入れ、就職など卒業・修了後の進路に至るまで、体系的に実施されることが必要であるとされたことも踏まえ、各大学において、入り口から出口までの各々の段階に応じた取組状況について、きめ細かな情報提供が有効であると考えられる。

具体的に情報の公表が考えられる項目としては、各国からの留学生受入数に加え、以下の項目について情報を公表することが考えられる。

(項目例)

- ・入学手続に関する項目（入学要件（年齢・学歴）及び卒業資格要件、海外における説明会の開催、海外拠点におけるテレビ会議システムを活用した入学審査時の面接実施、渡日前入学や独自の現地入試実施、日本留学試験の利用状況等）
- ・入学後の生活に関する項目（宿舎整備、日本語指導、カウンセリング、学内文書の英語化、経済的支援等）
- ・入学後の教育に関する項目（教育支援員やTA、RAによるサポート、留学生のTA、RAとしての活用）
- ・学位取得に関する項目
- ・学位取得後の就職等の状況に関する項目（就職後の進路、海外におけるインターンシップを含む企業との連携状況、OB会など卒業後のネットワーク形成状況等）
- ・英語による授業のみで学位を取得可能なコースの設置状況
- ・大学間交流協定に基づく交換留学プログラムや短期留学プログラムの設定状況 等

特に英語コースについては、他の学科や専攻と同様に、明示されている人材養成目的に沿った、組織的・体系的に編成され、国際競争力のある教育研究が提供されていることを前提とした上で、国際的に教育研究の実績がある教員が参画しているか、あるいは受入学生の卒業時期を考慮した4月以外の入学等、入学前の既修得単位認定状況等、日本への留学を促進し、質の高い学生を確保するための方策が検討されているかなどについて、各大学の方針や実施状況を公開することが考えられる。

また、海外への情報発信強化の観点からは、組織的・継続的な教育連携関係を図るためにも、大学間交流協定等に基づく交換留学や短期留学プログラム、教育課程に位置付けられた留学プログラムなどの実績や、単位互換やダブル・ディグリーの実施にかかる基本方針及びこれまでの実績、さらには外国人留学生の受入れのみならず日本人学生の派遣状況等についても公表することが考えられる。

(5) 外部評価等の実施状況

定評ある国際比較においては、教員・研究者によるピアレビュー等の第三者によるレビューも重要な位置づけを占めている。

これらのレビューについては、実際にどのような者を対象とし、どのような分析に基づいて指標が算出されているのか不明な点も多いが、例えば各大学において実施する自己評価において外部レビューを受審した場合の結果や国内外の機関による認証評価や外部評価の結果は、有益な情報価値を有しているものと考えられることから、これらの情報を積極的に公開することが考えられる。

また、国内外における自らの大学に対する好意的な報道や評価なども、大学のホームページで取り上げるなど、積極的に活用していくことが考えられる。

3. 情報の公表に当たっての体制づくり

上記に述べた各種項目に関する情報の公表に当たっては、大学が単発的に、あるいは一部の教員や事務職員等により取り組むのではなく、一定の方針を定め、当該方針に基づき具体的に情報の公表・発信を戦略的に展開するための全学的な体制を整備することが有益であるものと考えられる。

各大学においては、それぞれの目標や実情等に応じて情報の公表に関する適切な体制を整備するとともに、その実施や達成の状況を評価するのみならず、他大学の発信する情報を分析評価するIR (Institutional Research) 機能を持つことで、自らの戦略形成の基礎とすることが可能となる。また、改善を図るためのプロセスを構築することも容易となり、大学運営に資するところは大きいものと考えられる。加えて、各大学におけるIR機能の充実に当たっては、国内的な観点のみならず、国際的な観点から情報の評価・分析を行うことができる職員を育成することが期待される。

また、情報提供に当たり、大学全体としての情報のみならず、各学部や研究科、学位プログラムごとの情報なども公表することで、各大学の「強み」や「弱み」を含む内外での分析にも役立てられるよう、併せて留意が必要である。国においても、各大学における情報の公表や分析のあり方に関する諸課題について、調査研究などを通じ、引き続き各大学の検討に資するような情報を発信していくことが重要である。

中央教育審議会大学分科会
大学教育の検討に関する作業部会
国際的な大学評価活動に関するワーキンググループ委員名簿

- 小尾 晋之介 慶應義塾大学理工学部教授
- 根岸 正光 国立情報学研究所教授
- 林 隆之 独立行政法人大学評価・学位授与機構准教授
- 光田 好孝 東京大学生産技術研究所副所長
- ◎ 山本 眞一 広島大学高等教育研究開発センター長
- 米澤 彰純 東北大学高等教育開発推進センター准教授

◎主査, ○主査代理

「グローバル30」選定大学による国際情報発信

1. 趣旨

「国際化拠点整備事業（グローバル30）」は、大学の機能に応じた質の高い教育の提供と、海外の学生が我が国に留学しやすい環境を提供する取組のうち、英語による授業等の実施体制の構築や、留学生受け入れに関する体制の整備、戦略的な国際連携の推進等、我が国を代表する国際化拠点の形成の取組を支援することにより、留学生と切磋琢磨する環境の中で国際的に活躍できる高度な人材を養成することを目的としている。

このような目的を踏まえ、国際的な情報発信についても先導的な役割を果たすため、グローバル30のウェブサイトにおいて、各グローバル30選定大学が、それぞれの大学情報について、海外向けに英語で発信を行なっている（平成24年7月には全大学が情報発信を開始）。

【参考】グローバル30ウェブサイト

(<http://www.uni.international.mext.go.jp/>)

2. 参加大学（グローバル30選定大学：13大学）

東北大学、筑波大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、慶應義塾大学、上智大学、明治大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学

3. 公表している情報項目

次の項目を含む大学情報について、大学が任意に選択して発信している。

学生・教員	学生数、留学生数、入学者数、収容定員 教員数、外国人教員数、博士号保有教員数 教員あたりの学生数、30人以下及び50人以下 の授業の割合	国際交流	全学協定締結数、部局間協定締結数 教員交流数、学生交流数 単位互換制度に基づく交流学生数(国内) 国際的・大学間ネットワークへの参加実績
卒業後の状況	卒業生数、卒業率 就職者数、進学者数 学位授与数、留学生学位取得数	入試	現地入試・渡日前入学 等
教育課程	英語による学位取得可能なコースの設置数 ダブル・ディグリープログラム数 シラバス	学生支援	奨学金、学生生活 TA・RAによるサポート 留学生のTA・RAとしての活用 OB会の数



With the introduction of the "Global 30" Project, the best universities in Japan are now offering degree programs in English.

SEARCH [Inquiry](#) [Japanese](#)

Prestigious Universities Offering Degree Programs Conducted Only in English

13 internationalized universities were selected by the Japanese Government. These include The University of Tokyo, Asia's best university, and Kyoto University, a university which has produced seven Nobel Prizes recipients. You will be able to obtain degrees from these top universities by taking courses offered in English.



HOME > Universities > Tohoku University > Data

Profiles
Data
Academic Departments
Global30 Activities
Courses
Scholarship
Student Life
News
Member Universities
Tohoku University
University of Tsukuba
The University of Tokyo
Nagoya University
Kyoto University
Osaka University
Kyushu University
Keio University
Sophia University
Meiji University
Waseda University
Doshisha University
Ritsumeikan University

Tohoku University

[PRESIDENT'S MESSAGE](#)
[DOWNLOAD BROCHURE](#)

Future Global Leadership at Tohoku University
Tohoku University offers high quality education based on cutting-edge research.

DATA (As of May 2014)

1. Student Characteristics

Number of Students	Undergraduates (Male/Female):	8,260 / 2,800
	Master's Degree (Male/Female):	3,206 / 900
	Professional Degree (Male/Female):	Added up to the number of Master's Degree
	Doctorate Degree (Male/Female):	1,974 / 677
Number of International Students	Undergraduates:	174
	Master's Degree:	477
	Professional Degree:	
	Doctorate Degree:	534
Student-Faculty Member Ratio	By Country:	
	Undergraduates:	
	Master's Degree:	
	Professional Degree:	
Number of Students Enrolled	Undergraduates (Male/Female):	1,905 / 653
	Master's Degree (Male/Female):	1,411 / 356
	Professional Degree (Male/Female):	73 / 19
	Doctorate Degree (Male/Female):	431 / 123
Number of Places	Undergraduates:	
	Master's Degree:	
	Professional Degree:	
	Doctorate Degree:	
Number of Faculty Members	Undergraduate Level (Male/Female):	
	Master's Degree (Male/Female):	
	Professional Degree (Male/Female):	
	Doctorate Degree (Male/Female):	
Number of International Faculty Members	Undergraduate Level:	
	Master's Degree:	
	Professional Degree:	
	Doctorate Degree:	
Number of Faculties holding Doctorate Degrees	Undergraduate Level:	
	Master's Degree:	
	Professional Degree:	
	Doctorate Degree:	
	classes with under 50 students:	%

You can download "Study in English at Japanese Universities".

Percentage of Small-Group Teaching Classes	classes with under 30 students:	%
Number of Students Graduating	Undergraduate Level:	2,473
	Master's Degree:	1,798
	Professional Degree:	112
	Doctorate Degree:	587
Graduation Rates	Undergraduate Level:	%
	Master's Degree:	%
	Professional Degree:	%
	Doctorate Degree:	%
Number of Students in Employment after Graduation	Undergraduate Level:	793
	Master's Degree:	1,310
	Professional Degree:	45
	Doctorate Degree:	373
Number of Students going into Further Education	Undergraduate Level:	1,388
	Master's Degree:	317
	Professional Degree:	1
	Doctorate Degree:	3
Number of Degree Conferred	Master's Degree:	1798
	Professional Degree:	112
	Doctorate Degree:	587

2. Academic Curricula and Standards

Greetings from the President	http://www.tohoku.ac.jp/en/about/presidents_message.html
Syllabus	N/A

3. International Affairs

Number of Academic Exchange Agreements with Universities or Institutes	190	
Number of Academic Exchange Agreements Among Faculties	359	
Number of Faculty Members Dispatched and Accepted	Accepted:	1,760
	Dispatched:	6,814
Number of Students Dispatched Abroad and Accepted from Abroad	Accepted:	1,532
	Dispatched:	N/A
Number of Double Degree Programs	4	
Number of Students Dispatched Abroad by Membership Universities of Credit Transfer System (from Japanese Universities Only)	N/A	
Number of Membership to International University Associations	5	

4. Support for International Student

Undergraduate Application	http://www.tohoku.ac.jp/en/admissions/admission_undergraduate.html
Acceptance before arriving in Japan	N/A
Entrance Examination at Home Country	N/A
Graduate Application	http://www.tohoku.ac.jp/en/admissions/admission_graduate.html
Scholarships	http://www.tohoku.ac.jp/en/admissions/financial_aid.html
Student Life	http://www.tohoku.ac.jp/en/campus_life/index.html
Assistance Provided by Teaching Assistants and Research Assistants	N/A
Utilizing Overseas Student as Teaching Assistants and Research Assistants	N/A
Number of Degrees Conferred to International Students	N/A
Number of International Students Employed After Graduation	N/A
Number of Overseas Alumni Groups	N/A
Number of Degree Courses Offered in English	16

» GO TO THE WEBSITE OF THIS UNIVERSITY

 SEARCH

» INQUIRY

Japanese

» Sitemap

» Site Policy / Privacy Policy

» Study in Japan

» About Global 30

» Universities

» Courses

» Student Life

» Scholarship

» Admissions

» FAQ

Member University List

» Tohoku University

» University of Tsukuba

» The University of Tokyo

» Nagoya University

» Kyoto University

» Osaka University

» Kyushu University

» Keio University

» Sophia University

» Meiji University

» Waseda University

» Doshisha University

» Ritsumeikan University

Student Life

» Preparation

» Life in Japan

» After Graduation

Scholarship

» G30 Member Universities

» MEXT (Ministry of Education,
Culture, Sports, Science and
Technology)

» JASSO (Japan Student Services
Organization)

» Private Foundations

© 2009-2015 Global30. for staff [web Admin | G30 notice board]

- ・ [サイトマップ](#)
- ・ [English/Other Languages](#)

[ホーム](#) » [留学生支援](#) » [日本への留学情報](#)

2015年2月26日更新

日本への留学情報 [English](#)



注意！日本留学を希望するみなさまへ

あなたの探している情報は？

- どうやって情報を集めたいですか
- 大学を探しています
- 日本へ短期留学をしたい
- 専門コース(アニメ、デザイン、調理等を学びたい)
- 日本語を勉強したい
- 奨学金情報を知りたい



※PDFファイル・Excelファイルの閲覧方法>>

日本留学の基本情報

Q.日本留学の基本情報が知りたい	日本留学ガイドブック "Student Guide to Japan" まずはこの冊子を読みましょう！ 日本留学ポータルサイト
Q.海外で日本留学の情報を得たい	JASSO海外事務所(インドネシア、韓国、タイ、マレーシア) JASSO日本留学促進資料公開拠点(海外55箇所) 日本留学のイベント・説明会 日本留学フェアなどの情報はこちら！

その他の日本留学情報

日本へ留学したい方へ

- ・ 日本への留学情報
- ・ [イベント・説明会](#)
- ・ [日本留学の奨学金](#)
- ・ [出版物](#)
- ・ [日本留学試験\(EJU\)](#)
- ・ [日本語教育センター](#)
- ・ [日本学生支援機構の宿舎](#)
- ・ [日本留学関連リンク](#)

日本での留学を終える方へ

- ・ [帰国留学生へのフォローアップ](#)
- ・ [Japan Alumni eNews](#)

留学関連資料

- ・ [留学生受入れの概況](#)
- ・ [我が国の留学生制度の概要\(受入れ及び派遣\)\(文部科学省\)](#)
- ・ [留学生の生の声の発信\(文部科学省\)](#)

大学・大学院・短期大学

Q. 大学を検索したい	各学校のホームページ 大学検索ページ(英文) With Search Engine 「Japan Study Support」(アジア学生文化協会) 「逆引き.ネット」(廣告社株式会社進学資料センター) ※所在地、国公私立、学科系統別、学科名やキーワードで大学を検索できます。
Q. 10月に入学できる大学を知りたい	4月以外に入学が可能な大学、大学院、短期大学(和英並記、PDF:360KB)
Q. 英語の授業を受けて学位を取得したい	University Degree Courses Offered in English(英語による学士コース)(英文版のみ、PDF:173KB) University Degree Courses Offered in English(英語による修士・博士学位取得コース)(英文版のみ、PDF:367KB) 「jump」国際化拠点整備事業(グローバル30) 英語コースを持つ大学のリストを見ることができます
Q. 大学に編入したい	編入制度のある大学(学士課程)(PDF:438KB)

→ 別添 1

→ 別添 2

Q. 交流協定のある大学を探している	「海外の大学との大学間交流協定、海外における拠点に関する調査結果(文部科学省)」
--------------------	--

関連機関リンク
このサイトについて
個人情報保護
寄附のお願い
詐欺にご注意
お問合せ先

Q. 日本へ来る前に、学校を受験したい	渡日前入学許可制度のある大学、大学院、短期大学（学士課程）(PDF:343KB)
	渡日前入学許可制度のある大学、大学院、短期大学（修士、博士課程）(PDF:432KB)
	日本留学試験利用渡日前入学許可校(大学、短期大学、大学院、高等専門学校、専修学校)

独立行政法人日本学生支援機構 Copyright © JASSO. All rights reserved.

Q. 日本留学試験(EJU)について知りたい	日本留学試験(EJU)
	日本留学試験利用校(大学、短期大学、大学院、高等専門学校、専修学校)

Q. 大学院に入学するため、指導教員を探している	「研究開発支援総合ディレクトリ(ReaD)」 (独立行政法人科学技術振興機構)
--------------------------	--

○便利な図書

「私費外国人留学生のための大学入学案内」(アジア学生文化協会)

※各大学・短期大学の外国人学生向けの入試内容等の貴重な情報が記載されています。

短期プログラム

Q. 日本に短期留学したい	短期プログラム(1年以内の外国人留学生のためのプログラム) (PDF:305KB)
---------------	--



別添 3

専門コースのある学校

Q. 専門コースを学べる学校を探している	「外国人留学生の皆さんへ」(繁体中文、簡体中文、韓国語、英語)(公益社団法人東京都専修学校各種学校協会)
	「都道府県協会:名簿」(全国専修学校各種学校総連合会)各都道府県の専修学校の情報

※専門学校とは、専門課程を置く専修学校のことで高等教育機関の一つです。詳しくは、日本留学ガイドブック「Student Guide to Japan」の32ページに記載されています。

Q. アニメ・ゲームを学べる大学を探している	アニメーション・マンガ・ゲームを学べる大学院・大学・短期大学(和英並記、PDF:187KB) [New!] 大学や大学院でアニメやゲームを学びたい場合はこちら!
------------------------	--

Q. ファッションを学べる大学を探している	ファッションを学べる大学・短期大学(和英並記、PDF:153KB) [New!]
-----------------------	---

Q. 観光学を学べる大学を探している	観光学を学べる大学院・大学・短期大学(和英並記、PDF:159KB) [New!]
--------------------	--

日本語を学べる学校

Q. 11年の教育を修了しました。日本の大学に入学できますか。※	大学入学のための準備教育課程の指定を受けた日本語教育機関(準備教育課程)の一覧(PDF:119KB)
----------------------------------	--

※日本で高等教育機関に進学するには、12年の初等・中等教育課程を修了している必要があります。インド、シンガポール、フィリピン、マレーシア、ミャンマー等の10年または11年の教育を修了した人が日本で進学する場合、大学入学資格を得るためには(1)と(2)の方法があります。

(1) 母国の大学等の高等教育機関に1年～2年在籍し、12年の学校教育を受ける。

(2) 「大学入学のための準備教育課程」で1～2年間学ぶ。

Q. 日本語学校を探している Q. 日本語を勉強してから、大学に入学したい	「日本語教育機関案内」(一般財団法人日本語教育振興協会認定校)
--	---------------------------------

	私立大学・短期大学留学生別科一覧(PDF:200KB) 「私立大学留学生別科とは」(日本私立大学団体連合会)
--	---

※日本学生支援機構の日本語教育センター(東京、大阪)はこちら>>

奨学金情報

Q. 奨学金を探しています	奨学金制度のある大学、大学院、短期大学(PDF:502KB)
	日本留学の奨学金
	奨学金案内(アジア学生文化協会)



別添 4

このページに関するお問い合わせ先

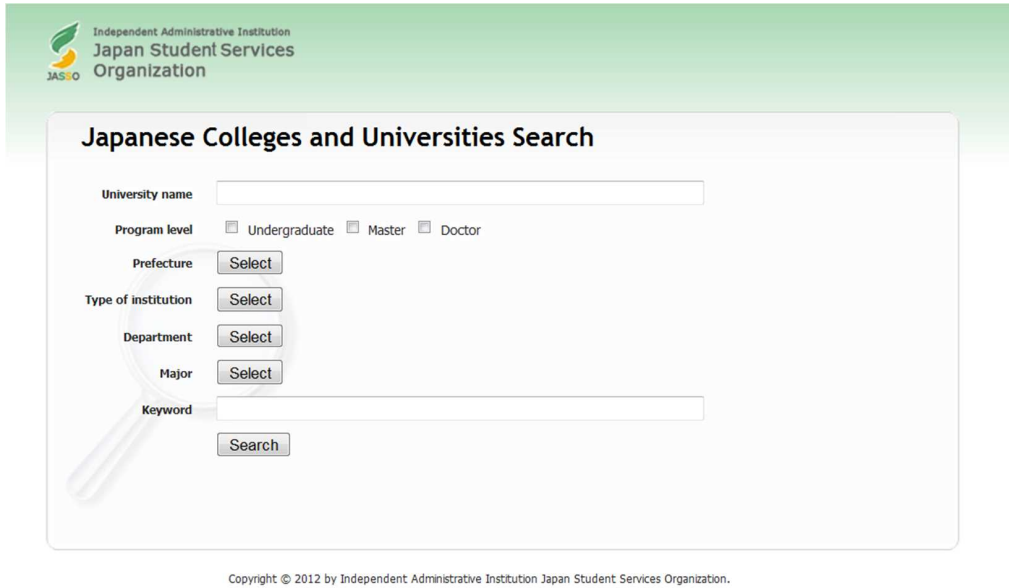
独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学情報課 日本留学係

E-mail: infoja[@]jasso.go.jp

*メールを送る際は@の前後の[]を取ってご利用ください。

日本学生支援機構 (JASSO)による 英文大学検索システムの取組

https://www.g-studyingin-japan.jasso.go.jp/univ_search/



大学検索 > 大学検索結果 > 大学詳細表示①

Japan Student Services Organization

The University of Tokushima

① Location: Tokushima
② Type of institution: National coed
③ Contact: International Affairs Division
 2-1 Minamijosanjima-cyo, Tokushima 770-8506
TEL: +81-88-656-7082 **FAX:** +81-88-656-9873
Mail: ryugakuk@jim.tokushima-u.ac.jp
Website: <http://www.tokushima-u.ac.jp>

④ Profile
 The University of Tokushima was founded in 1949 as one of Japan's national universities. It consists of approximately 7,900 students and 1,900 staff members. The University of Tokushima has a philosophy based on the following principles: 1. Encouraging enterprising talent of the students by respecting their individuality, through provision of an education that develops humanity as well as provides outstanding professional knowledge and skills in their fields. 2. Contributing to the construction of a rich and sound future society through the inheritance of knowledge and the creation of new forms of knowledge. 3. Playing an active role in building a peaceful and cultured society as a center of an intellectual network connecting the local community with the world.

① No. of Professors (full-time/part-time): 275/1
② No. of Foreign Teachers (full-time/part-time): 21/1
③ No. of Countries of Origin: 18
④ No. of Undergraduate Degree Students: 5999
⑤ No. of International Undergraduate Degree Students: 23
⑥ No. of Graduate Degree Students: 1743
⑦ No. of International Graduate Degree Students: 196
⑧ No. of Associate Professors (full-time/part-time): 199/0
⑨ No. of International Students (Degree/Non-Degree): 219/35
⑩ No. of Exchange Agreements: 46
⑪ No. of Countries with Exchange Agreements: 15
⑫ No. of Exchange Students (Receiving): 8
⑬ No. of Exchange Students (Sending): 3
⑭ No. of International Students who got a job in Japan: 11

① Undergraduate Programs

Dentistry
 Dentistry
 Oral Health and Welfare

Engineering (Miscellaneous)
 Biological Science and Technology
 Chemical Science and Technology
 Civil and Environmental Engineering

② Graduate Programs

Dentistry
 Oral Health Science (M)
 Oral Science (D)

Advanced Technology and Science
 Earth and Life Environmental Engineering (M,D)
 System Innovation Engineering (M,D)
 Intelligent Structures and Mechanics Systems Engineering (M,D)

- ① 場所
- ② 大学のタイプ
- ③ 連絡先
- ④ プロフィール

- ① 教授数(常勤/非常勤)
- ② 外国人(常勤/非常勤)
- ③ 在籍留学生の国籍及び地域数
- ④ 学部正規学生総数
- ⑤ 学部正規留学生数
- ⑥ 大学院正規学生数
- ⑦ 大学院正規留学生数
- ⑧ 准教授数(常勤/非常勤)
- ⑨ 外国人学生数(正規/非正規)
- ⑩ 交流協定数
- ⑪ 交流協定国数
- ⑫ 交換留学生数(受入)
- ⑬ 交換留学生数(派遣)
- ⑭ 日本で就職した留学生の数

- ① 学部プログラム
- ② 大学院プログラム

大学検索 > 大学検索結果 > 大学詳細表示②

Civil and Environmental Studies	Medical Science (M)
Food Science	Medical Sciences (D)
Nutrition	Nursing
Human Sciences	Nursing (M)
Human Sciences	Pharmaceutical Sciences
Mathematics	Pharmaceutical Life Sciences (D)
Mathematical and Material Sciences	Pharmaceutical Chemistry (D)
Medicine	Pharmaceutical Sciences (M)
Health Science	Clinical Psychology
Medicine	Clinical Psychology (M)
Pharmaceutical Sciences	Regional Sciences
Pharmaceutical Technosciences	Regional Sciences (M,D)
Pharmacy	

① Special Programs for International Students

We have a special Program "Interdisciplinary Health Care Graduate Program in English". This program is the English special graduate program offered by our newly integrated graduate health and life sciences schools of The University of Tokushima. These include the Schools of Medicine, Dentistry, Pharmacy, Nutrition, the Institute for Enzyme Research and the Institute for Genome Research. All these schools are concentrated in the Kuramoto Campus, one of the Japanese centers of excellence in bioscience research.

② Service for International Students

International Center is established to provide foreign students with various support and assistance for their successful academic life in Japan. The following services are provided: 1)To provide preparatory education before entering a graduate school 2)To provide classes of Japanese language and culture 3)To provide guidance and consultation on their schooling and daily life

*Scholarship(for Self-Supported International Students)

Payment Amount:30,000 yen/month or 50,000 yen/month

*Two International Houses

1. Kitajima International House

32 single rooms, 15 couple rooms, 3 family rooms

2. Nichia International House

30 single rooms (for female only)

③ International Student Alumni Network

Alumni Association in China, Alumni Association in Korea, Alumni Association in Mongolia

- ① 留学生向け特別プログラム
- ② 留学生へのサービス
- ③ 元留学生同窓会ネットワーク

+

④ 最新情報

UNIVERSITY DEGREE COURSES OFFERED IN ENGLISH

別添 2

Revised March 2014

Since classes are basically offered in English, Japanese language proficiency is not required at time of application for courses. However, universities may ask students to learn Japanese or take classes taught in Japanese after enrollment.

The programs offered by "Global 30" project that the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology has launched are not listed below, so please check the website of "Global 30".

"Global 30" <http://www.uni.international.mext.go.jp/course/>

【大学ポर्टレートセンター事務局 注】
 本リストは学士取得コースのもので、
 修士・博士取得コースは別にリストがあります。

1
 N: National
 L: Local

2
 B: Bachelor
 A: Associate

6
 Y: Yes
 N: No

7
 Y1: There is transfer system and credit transfer from other universities (Credits earned in overseas higher educational institutions can be transferred).

1	2	3	4	5	6	7	8
Degree	University	Program	Begins in	Pre-Arrival Admission	Transfer	Contact	Prefecture URL Email Tel/Fax
1: Humanities [Cultural Studies, Geography, Liberal Arts, Language, Literature, Psychology]							
L	B	Akita International University		Apr. Sep.	Y	Y2	Akita info@aiu.ac.jp TEL:+81-(0)18-886-5900/FAX: +81-(0)18-886-5910 http://web.aiu.ac.jp/en/
P	B	International Christian University	College of Liberal Arts	Sep.	Y	Y1	Tokyo Tel:+81-422-33-3700/Fax:+81-422-34-3635 http://subsite.icu.ac.jp/admissions/SeptAdm/index
P	B	Tama University	Global Studies	Apr. Sep.	Y	Y1	Kanagawa international@gr.tama.ac.jp TEL:0466-21-7731/FAX:0466-82-5070 http://www.tama.ac.jp/english/sgs_overview.html
P	B	Tokyo Christian University	Asian Christian Theological Studies for English Speakers	Aug.	Y	Y	Chiba acts@tci.ac.jp Phone +81-476-46-1131/Fax +81-476-46-1405 http://acts.tci.ac.jp/
P	B	Doshisha University	The Institute for the Liberal Arts (Liberal Arts Program)	Apr. Oct.	Y	Y1	Kyoto ji-ila@mail.doshisha.ac.jp TEL: +81-75-251-3302/FAX: +81-75-251-3304 http://ila.doshisha.ac.jp
P	B	Hiroshima Jogakuin University	Global Studies in English	Apr.	Y	N	Hiroshima kokusai@gaines.hju.ac.jp Tel: +81-82-228-0386/Fax: +81-82-228-1648 http://www.hju.ac.jp/
P	B	Shikoku Gakuin University	English Major	Apr.	N	Y1	Kagawa http://www.sg-u.ac.jp/
P	A	Nagasaki Junior College	International Communication Department, Food and Nutrition Department	Apr.	Y	N	Nagasaki njc@njc.ac.jp TEL: +81-956-47-5566/FAX: +81-956-47-5596 http://www.njc.ac.jp/
2: Social Science [Economics, Law, Management, Politics, Social Science, Sociology]							
N	B	Hokkaido University	Modern Japanese Studies Program (will be offered from 2015 academic year)	Apr.	Y	N	Hokkaido mjsp@oia.hokudai.ac.jp Tel:+81-(0)11-706-8045 http://www.oia.hokudai.ac.jp/mjisp/
L	B	Akita International University		Apr. Sep.	Y	Y2	Akita info@aiu.ac.jp TEL:+81-(0)18-886-5900/FAX: +81-(0)18-886-5910 http://web.aiu.ac.jp/en/
P	B	Tokyo International University	English Track Degree Program (Business Economics)	Apr. Sep.	Y	Y1	Tokyo etrack@tiu.ac.jp TEL: +81-3-3362-9644/FAX: +81-3-3362-9643 http://www.tiu.ac.jp/english/etrack/index.html
P	B	International Christian University	College of Liberal Arts	Sep.	Y	Y1	Tokyo Tel:+81-422-33-3700/Fax:+81-422-34-3635 http://subsite.icu.ac.jp/admissions/SeptAdm/index
P	B	Nagoya University of Commerce and Business	Global Leadership Program	Apr.	Y	Y1	Aichi kokusai@nucba.ac.jp Tel: +81-561-73-2111/Fax:+81-561-73-1202 http://www.nucba.ac.jp/en/
P	B	Kwansei Gakuin University	English-based Degree Program (School of International School)	Apr.	Y	N	Hyogo kgusis@kwansei.ac.jp Tel: +81-798-54-6072/Fax: +81-798-54-6082 http://global.kwansei.ac.jp/academics/academics_203361.html
P	B	Ritsumeikan Asia Pacific University	College of Asia Pacific Studies	Apr. Sep.	Y	Y1	Oita welcome@apu.ac.jp http://admissions.apu.ac.jp
P	B	Ritsumeikan Asia Pacific University	College of International Management	Apr. Sep.	Y	Y1	

1	2	3	4	5	6	7	8
1	Degree	University	Program	Begins in	Pre-Arrival Admission	Transfer	Contact Prefecture URL Email Tel/Fax
3:Education [Education, Physical Education and Health Science, School Teacher Training]							
L	B	Akita International University		Apr. Sep.	Y	Y2	Akita info@aiu.ac.jp TEL:+81-(0)18-886-5900/FAX: +81-(0)18-886-5910 http://web.aiu.ac.jp/en/
P	B	International Christian University	College of Liberal Arts	Sep.	Y	Y1	Tokyo Tel:+81-422-33-3700/Fax:+81-422-34-3635 http://subsite.icu.ac.jp/admissions/SeptAdm/index
4:Comprehensive Science [Comprehensive Science, International Culture, International Relations]							
N	B	Tohoku University	Advanced Molecular Chemistry Course (AMC)	Oct.	Y	N	Miyagi tohoku-fgl@bureau.tohoku.ac.jp Tel: +81-22-795-3242 Fax: +81-22-795-7826 http://www.fgl.tohoku.ac.jp/
L	B	Akita International University		Apr. Sep.	Y	Y2	Akita info@aiu.ac.jp TEL:+81-(0)18-886-5900/FAX: +81-(0)18-886-5910 http://web.aiu.ac.jp/en/
P	B	International Christian University	College of Liberal Arts	Sep.	Y	Y1	Tokyo Tel:+81-422-33-3700/Fax:+81-422-34-3635 http://subsite.icu.ac.jp/admissions/SeptAdm/index
5:Engineering [Aeronautics and Space Engineering, Applied Chemistry, Applied Physics, Biotechnology, Civil Engineering, Electrical and							
N	B	Tohoku University	International Mechanical and Aerospace Engineering Course (IMAC-U)	Oct.	Y	N	Miyagi tohoku-fgl@bureau.tohoku.ac.jp Tel: +81-22-795-3242 Fax: +81-22-795-7826 http://www.fgl.tohoku.ac.jp/
N	B	Kyushu University	International Undergraduate Program in Applied Chemistry	Oct.	Y	N	Fukuoka global30@jimu.kyushu-u.ac.jp http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/g30/index.html
N	B	Kyushu University	International Undergraduate Program in Civil Engineering	Oct.	Y	N	
N	B	Kyushu University	International Undergraduate Program in Mechanical Engineering	Oct.	Y	N	
N	B	Kyushu University	International Undergraduate Program in Aerospace Engineering	Oct.	Y	N	
6: Agriculture [Agricultural Economics, Agriculture, Bio-production and Bio-resources, Fisheries, Forest Science, Veterinary and Animal Science,							
N	B	Tohoku University	Applied Marine Biology Course (AMB)	Oct.	Y	N	Miyagi tohoku-fgl@bureau.tohoku.ac.jp Tel: +81-22-795-3242 Fax: +81-22-795-7826 http://www.fgl.tohoku.ac.jp/
N	B	Kyushu University	International Undergraduate Program, Department of Bioresource and Bioenvironment	Oct.	Y	N	Fukuoka global30@jimu.kyushu-u.ac.jp http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/g30/index.html
8:Home Science [Domestic and Life Science, Food Science, Housing]							
P	A	Nagasaki Junior College	International Communication Department, Food and Nutrition Department	Apr.	Y	N	Nagasaki njc@njc.ac.jp TEL: +81-956-47-5566/FAX: +81-956-47-5596 http://www.njc.ac.jp/
9:Comprehensive Science [Comprehensive Science, International Culture, International Relations]							
N	B	Yokohama National University	YOKOHAMA Creative-City Studies (YCCS) Program	Oct.	Y	N	Kanagawa yccs@ynu.ac.jp Tel: +81-45-339-3176/Fax: +81-45-339-3189 http://www.yccs.ynu.ac.jp/
L	B	Akita International University		Apr. Sep.	Y	Y2	Akita info@aiu.ac.jp TEL:+81-(0)18-886-5900/FAX: +81-(0)18-886-5910 http://web.aiu.ac.jp/en/
P	B	Tokyo International University	English Track Degree Program (International Relations)	Apr. Sep.	Y	Y1	Tokyo etrack@tiu.ac.jp TEL: +81-3-3362-9644/FAX: +81-3-3362-9643 http://www.tiu.ac.jp/english/etrack/index.html
P	B	International Christian University	College of Liberal Arts	Sep.	Y	Y1	Tokyo Tel:+81-422-33-3700/Fax:+81-422-34-3635 http://subsite.icu.ac.jp/admissions/SeptAdm/index
P	B	Hosei University	Global and Interdisciplinary Studies(GIS)	Apr. Sep.	N	N	Tokyo gis@hosei.ac.jp Tel: +81-3-3264-5805/Fax: +81-3-3264-5245 http://www.hosei.ac.jp/gis/en/
P	B	Meiji Gakuin University	International Studies(Global and Transcultural Studies)	Apr. Sep.	Y	Y1	Yokohama (Kanagawa Pref.) mginfo@mguad.meijigakuin.ac.jp http://fis.meijigakuin.ac.jp/gts/en/
P	B	Waseda University	School of International Liberal Studies	Apr. Sep.	Y	N	Tokyo adm-iao@list.waseda.jp Tel: +81-3-3204-9073/Fax: +81-3204-9464 http://www.waseda.jp/admission/

短期プログラム(学位取得を目的としないプログラム) (抜粋)

2014年3月更新

【注】2014年度に実施するプログラム情報です。最新の情報は、必ず各大学にお問い合わせください。

種別	学校名	プログラム名	連絡先 都道府県 Tel: Fax: URL E-mail	授業科目 1.プログラム 2.プログラム以外でも 受講できる科目	教授言語 英=英語 日=日本語 「英、日」=両方 ()補助的に 使われる言語	修業期間	授業開始 月	応募期間	学費(単位:千円)	入学前予 約奨学金	宿舎の確保 ○:100% △:ある程 度 ×:なし	ホームス テイ	主な入学条件 1. 学歴、年齢 2. その他
国立	小樽商科大学	YOUCプログラム	北海道 Tel: 0134-27-5262 Fax: 0134-27-5264 http://www.int.otaru-uc.ac.jp/youc/ inljimu@office.otaru-uc.ac.jp	1.経済学、商学、日本語、研究指導、インターンシップ 2.大学が実施するすべての科目	英	12ヶ月、 (6ヶ月の場合もあり)	10月 4月	4月10日(授業開始:10月) 10月10日(授業開始:4月) (募集時期が2回ある)	482		○	○	1.海外の高等教育機関の学生であること 2.プログラム終了後帰国し、原籍大学の課程を修了する予定の者 3.十分な英語能力(TOEFL PBT550点推奨) 4.経済学、経営学、数学の基礎知識があること
国立	北海道大学	北海道大学 インターンシップ研修生 (情報科学研究科)	北海道 Tel: 011-706-7596 Fax: 011-706-7890 http://labs.eng.hokudai.ac.jp/ceed/	各研究を体験	英または日	6ヶ月	随時	随時	随時		△		海外大学の正規課程の学生
国立	弘前大学	弘前大学短期交流プログラム	青森県 Tel: 0172-39-3109 Fax: 0172-39-3133 http://www.hirosaki-u.ac.jp/kokusai/page/jp/page11.html jm3109@cc.hirosaki-u.ac.jp	1 国際交流科目 2 21世紀科目、学部専門科目(医学部を除く)	英、日	6ヶ月または12ヶ月	4月 10月	4月入学:前年度11月末 10月入学:4月下旬	6ヶ月=260 12ヶ月=470		×		1.大学在学中、または大学卒業者
国立	秋田大学	秋田大学全学留学生等 用プログラム	秋田県 Tel: 018-889-2258 Fax: 018-889-3012 http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_scholarship.html ryugaku@jim.u.ac.jp	1. 日本語、日本文化・社会、国際交流科目 2. 教育文化学部専門科目、補講科目	日	5ヶ月 11ヶ月	4月 10月	5月末 10月末	245.2		△		1.国内で入学手続きができるもの 2.日本語能力試験N2以上
国立	信州大学	異文化間で学ぶ臨床医学 研修と基礎医学研究	長野県 Tel/Fax: 0263-37-2713 http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/eng/oice/ maki@shinshu-u.ac.jp	1. 臨床実習、基礎医学 研究研修、日本文化	英または日	4~5週間	7月以降2 月中旬ま での間の4 期	各期開始の半年前~4 か月前まで	無	○	○	○	1. 個人申請:海外の大学の医学部生3 年次以上、大学からの推薦、成績 2. 国際医学生連盟経由:連盟参加国、 参加大学在籍の医学生3年次以上、連 盟及び大学推薦 3.協定校:在籍校を通じて申請。医学部 3年次生以上、大学からの推薦、成績 優秀者
国立	筑波大学 留学生センター	筑波大学短期留学国際 プログラム(JTP)	茨城県 Tel: 029-853-6090 Fax: 029-853-6204 URL: http://www.intersc.tsukuba.ac.jp/en/academic-life/exchange-programs Mail:isc-short-tem@un.tsukuba.ac.jp	1. 日本語、日本文化、 科学技術等の分野にお ける科目	日、英	6か月 12か月	4月 10月	4月入学:12月下旬 10月入学:4月下旬	15/単位		○		

種別	学校名	プログラム名	連絡先 都道府県 Tel: Fax: URL E-mail	授業科目 1.プログラム 2.プログラム以外でも 受講できる科目	教授言語 英=英語 日=日本語 「英、日」=両方 ()補助的に 使われる言語	修業期間	授業開始 月	応募期間	学費(単位:千円)	入学前予 約奨学金	宿舎の確保 ○:100% △:ある程 度 ×:なし	ホームス テイ	主な入学条件 1. 学歴、年齢 2. その他
国立	筑波大学 生命環境科学研究科	国際連携持続社会環境 グローバルキャンパスプ ログラム(SUSTEP)	茨城県 Tel: 029-853-4246 Fax: 029-853-6709 http://www2.envr.tsukuba.ac jp/eng/special-programs office@envr.tsukuba.ac.jp	1. 水資源管理、森林管 理、環境防災、土地利 用	英	6か月	10月	4月下旬	15/単位		○		
	筑波大学 体育専門学群 人間総合科学研究科 体育専攻	Tsukuba Summer Institute for Physical Education and Sport 2014	茨城県 Tel: 029-853-8761 Fax: 029-853-2623 http://www.siit.jp info2013-tsukuba@siit.jp	1. スポーツの科学、教 育、文化に関する科目	英	8日間	7月	4月末	協定書等に相互 不徴収の明記が ある場合:10 それ以外の大学 から:24.8		○		1.海外の大学の学部生(2年次以上)
	筑波大学 人間総合科学研究科	Graduate Research Seminar for Physical Education and Sports 2014	茨城県 Tel: 029-853-8761 Fax: 029-853-2623 http://www.siit.jp info2013-tsukuba@siit.jp	1. スポーツ教育、コー チング、運動発達	英	8日間	7月	4月末	協定書等に相互 不徴収の明記が ある場合:10 それ以外の大学 から:39.6		○		2.体育学・スポーツ科学専攻の学生
国立	東京大学	東京大学大学院理学系 研究科サマーインター シッププログラム	東京都 Tel: +81-3-5841-4012 Fax: +81-3-5841-8775 http://www.s.u- tokyo.ac.jp/en/utrip/ utrip@adm.s.u-tokyo.ac.jp	1. 講義(自然科学分 野) 2. 研究室での研究プロ ジェクトへの参加	英	6週間	6月~7月	1月中旬~2月末	0	○	○		1. 海外の大学に在籍する学部生 2. 自然科学分野またはそれに関連す る分野を専攻していること。
		The University of Tokyo Summer Internship Program in Kashiwa (UTSIP Kashiwa)	千葉県 Tel: 04-7136-4558 Fax: 04-7136-4560 http://www.ilo.k.u- tokyo.ac.jp/exchange_progra ms_e/UTSIP/UTSIP_en.php ilo@k.u-tokyo.ac.jp	1. 新領域創成科学研 究科での研究活動を体 験する。自然科学、社 会科学。 2. 日本語、日本文化 紹介	英	6週間	6月下旬	前年12月中旬~2月中 旬まで	なし	○	○		1.海外の大学の学部生(3, 4年次)が 主。
国立	名古屋大学	名古屋大学サマープロ グラム	愛知県 Tel: +81-52-789- 3603/3563 Fax: +81-52-789-3979 http://www.engg.nagoya- u.ac.jp/en/nusip/ nusip@engg.nagoya-u.ac.jp	1.最先端自動車工学、 日本語	英	6週間	6月	12月上旬~2月末	88.8		○	○	1.学部4年又は大学院在学中のもの 2.原則として在籍校を通じて申請するこ と
国立	豊橋技術科学大学	短期留学プログラム	愛知県 Tel: 0532-44-6577 Fax: 0532-44-6557 http://www.tut.ac.jp/ ryugaku@office.tut.ac.jp	1.大学が実施するすべ ての科目	日または英	1ヶ月~ 12ヶ月	4月 10月	4月入学:11月末 10月入学:5月末	特別聴講学生:1 単位につき14,800 円 特別研究学生:1 学期ごとに 178,200円(29,700 円/月)		△		(学部レベル)高等学校を卒業した者、 若しくは通常の課程による12年の学校 教育を修了した者又はこれと同等以上 の学力があると認められたもので、且 つ所属する大学の許可が得られた者。 (大学院レベル)大学を卒業した者又は これと同等以上の学力があると認めら れたもので、且つ所属する大学院の許 可が得られた者。

種別	学校名	プログラム名	連絡先 都道府県 Tel: Fax: URL E-mail	授業科目 1.プログラム 2.プログラム以外でも 受講できる科目	教授言語 英=英語 日=日本語 「英、日」=両方 ()補助的に 使われる言語	修業期間	授業開始 月	応募期間	学費(単位:千円)	入学前予 約奨学金	宿舎の確保 ○:100% △:ある程 度 ×:なし	ホームス テイ	主な入学条件 1. 学歴、年齢 2. その他	
国立	大阪大学	大阪大学 夏期超短期プログラム (日本語日本文化)	大阪府 Tel: 06-6879-7128 Fax: 06-6879-7128	1. 初級日本語	日、(英)	3週間	8月	6月下旬	入学金・登録料:0 授業料/期間: 28.8/3週間 その他の学費: 136.2 合計:165	○	○		1. 海外の大学の学部生、大学院生 2. 専攻問わず日本語初級学習者	
		3週間				2月	12月初旬	入学金・登録料: 20 授業料/期間: 28.8/3週間 その他の学費: 116.2 合計:165	○					
		大阪大学 春期超短期プログラム (日本語日本文化)		1. 入門日本語		日、(英)	8週間	6月	4月初旬	入学金・登録料:0 授業料/期間: 115.2 /10週間 その他の学費: 124.8 合計:240	○			○
		大阪大学 ショートステイ学期内日 本語専修プログラム (8週間コース)					10週間	10月	8月初旬	入学金・登録料:0 授業料/期間: 115.2 /10週間 その他の学費: 124.8 合計:240	○			
		大阪大学 ショートステイ学期内日 本語専修プログラム (10週間コース)					5週間	12月	10月初旬	入学金・登録料: 20 授業料/期間:57.6 /5週間 その他の学費: 102.4 合計:180	○			
大阪大学 ショートステイ学期内日 本語専修プログラム (5週間コース)	1. 初中級日本語													
国立	広島大学	日本語研修コース	広島県 Tel: 082-424-6182 Fax: 082-424-4545 kokusai- ryugaku@office.hiroshima- u.ac.jp	1.日本語、日本文化	日	6か月	4月 10月	2月下旬~3月中旬 8月下旬~9月中旬	0		△	○	1.広島大学の外国人研究生(日本語学 習未経験者対象)	
		先端融合科学特別聴講 学生夏期研修	広島県 Tel: 082-424-7407 Fax: 082-424-7407 http://www.hiroshima- u.ac.jp/index-j.html tebata@hiroshima-u.ac.jp	1.先端融合科学	英	9日間	8月	5月~6月	15		△		1.海外の大学の理・工学部生(3年次以 上)及び大学院生	
国立	山口大学	山口大学日本語・日本文 化サマープログラム (2013年度実績)	山口県 Tel: 083-933-5982 Fax: 083-933-5988 http://www.isc.yamaguchi- u.ac.jp/jpro/jpro_2012.html ga142@yamaguchi-u.ac.jp	1.日本語、日本文化	日	4週間	7月	4月下旬	88		○	○	1.日本語を学習したことがある者で、日 本語の学習を目的としている高校卒業 以上の者	

種別	学校名	プログラム名	連絡先 都道府県 Tel: Fax: URL E-mail	授業科目 1.プログラム 2.プログラム以外でも 受講できる科目	教授言語 英=英語 日=日本語 「英、日」=両方 ()補助的に 使われる言語	修業期間	授業開始 月	応募期間	学費(単位:千円)	入学前予 約奨学金	宿舎の確保 ○:100% △:ある程 度 ×:なし	ホームス テイ	主な入学条件 1. 学歴、年齢 2. その他
国立	徳島大学	国際センターサマースクール2013 (2013年度実績)	徳島県 Tel: 088-656-7082 Fax: 088-656-9873 http://www.isc.tokushima-u.ac.jp	1.日本語、日本文化	英	1週間	8月	4月下旬~6月上旬	0		○	○	1.海外の大学の学部生
		インターナショナル ア フリエイテッド ダブル ディグリープログラム サ マースクール (2013年度実績)	徳島県 Tel: 088-656-7317 Fax: 088-656-2158 http://www.cicee.tokushima-u.ac.jp	1.国際先端技術科学 特論1	英	1週間	8月	6月上旬~6月下旬	0	○	○		1.海外の大学院学生
		サマープログラム2013 (2013年度実績)	徳島県 Tel: 088-656-7082 Fax: 088-656-9873 http://www.isc.tokushima-u.ac.jp	1.国際統合医療特論	英	1週間	7月	6月上旬~6月下旬	0	○	○		1.海外の大学院学生
国立	九州大学	Japan in Today's World (JTW)プログラム	福岡県 Tel: 092-642-7351 Fax: 092-642-2144 http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jtw/ intl-jtw@jimu.kyushu-u.ac.jp	1.日本語及び日本に関 する人文科学・社会科 学・自然科学分野の講 義 2.大学が実施するすべ ての科目	英	10か月・ 5か月	10月	2月10日	10か月:355.2 5か月:177.6 (14.8/1単位)	○	○	○	1. JTWプログラム開始時まで、海外 の高等教育機関学部課程2年次以上 であること。
						4か月	4月	11月10日	4か月:177.6 14.8/1単位				
		Asia in Today's World (ATW)	福岡県 Tel: 092-642-2143 Fax: 092-642-4273 http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/atw	1.アジア研究科目(2科 目選択)及び日本語	英	6~7週間	6月下旬	2月下旬	92	○	○	○	1.海外の大学の学生
		ASEAN in Today's World (AsTW)	福岡県 Tel: 092-642-2143 Fax: 092-642-4273 http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/astw	1.アセアン研究科目(1 科目選択)及びアジア 言語(日本語、中国語、 タイ語、フィリピン語、イ ンドネシア語)	英	2週間	2月下旬	11月下旬	59	○	○		1.日本と海外の大学の学生
		日本語・日本文化研修 コース (JLCC)	福岡県 Tel: 092-642-2141 Fax: 092-642-2144 http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/jlcc/Japanese/index. html intlrcoryu@jimu.kyushu-u.ac.jp	1.「自主研究」、「日本語 論」、「日本社会文化論」 2.日本の社会や文化に 関する学部学生向け授 業	日	12か月	10月	2月10日	450.8	○	○		日本国以外の大学に在籍し、日本研究 を主専攻としている学部学生(コース参 加時1年次生を除く)で、すでに基礎的 な日本語の学習を終え、本学において 日本語で行われる日本の社会や文化 に関する授業を受講できる日本語能力 (日本語能力試験1級程度が望ましい) を有する者。

種別	学校名	プログラム名	連絡先 都道府県 Tel: Fax: URL E-mail	授業科目 1.プログラム 2.プログラム以外でも 受講できる科目	教授言語 英=英語 日=日本語 「英、日」=両方 ()補助的に 使われる言語	修業期間	授業開始 月	応募期間	学費(単位:千円)	入学前予 約奨学金	宿舎の確保 ○:100% △:ある程 度 ×:なし	ホームス テイ	主な入学条件 1. 学歴、年齢 2. その他
国立	鹿児島大学	Study Japan Program	鹿児島県 Tel: 099-285-7111 Fax: 099-285-7803 http://www.isc.kagoshima-u.ac.jp/japan/sjp.html	1. 日本語学修科目:初級1・2・3、中級1・2、上級 文化学修科目:異文化理解1・2、日本語文化入門1・2、日本人学生と学ぶ鹿児島	日、(英)	6か月	4月 10月	3月上旬 10月上旬	0		△		1. 協定校からの短期交換留学(協定校以外の学生も受入れ可)
公立	国際教養大学	2014年度サマープログラム	秋田県 TEL 018-886-5900 FAX 018-886-5910 http://www.aiu.ac.jp/international/in/summer-program/summerprogram@aiu.ac.jp	1.日本語、日本文化授業	英、日	6週間	6月	1月初旬	300	無	○	無	1. 申請時および本学滞在期間中、所属大学に在籍していること、また、申請時、少なくとも2学期修了していること。 2. 本学で行われた何らかのプログラムに以前参加したことがある場合は応募不可。累加平均2.5以上の成績であること。英語が母国語でない場合は、次のいずれかの資格を有すること:IELTS 5.0以上、TOEFL 500以上(PBT)もしくは61以上(iBT)、TOEIC 630以上。
公立	神戸市外国語大学	日本語プログラム	兵庫県 Tel: 078-794-8171 Fax: 078-794-8178 http://www.kobe-cufs.ac.jp/index.html	1. 日本語、日本事情 2. 大学が実施する学士課程科目	1. 日 2. 日、一部科目は英	4~5か月 9~11か月	4月 9月	春学期:プログラム前々年度12月下旬-プログラム前年度1月上旬まで 秋学期:プログラム前年度12月下旬-プログラム当年度5月上旬	267.9/学期	○	○	○	1. 海外の大学・大学院生
公立	広島市立大学	夏期集中講義「Hiroshima and PEACE」(2013年度実績)	広島県 Tel: 082-830-1505 Fax: 082-830-1657 http://www.hiroshima-cu.ac.jp/Hiroshima-and-Peace/index.htm Hiroshima-and-PEACE@office.hiroshima-cu.ac.jp	1.夏期集中講義「ヒロシマと平和」	英	10日間	7月	2月上旬~5月上旬	14		△	○	1. 2年次以上の学部生または卒業生 2. 大学院生または修士・博士課程修了者
公立	長崎県立大学	科目等履修制度	長崎県 Tel: 0956-47-2191 Fax: 0956-47-6941 http://www.sun.ac.jp	1.外国語科目(一部)、日本語科目、演習科目、実験科目、実習科目、必修科目以外の科目	日	6か月	4月 10月	2月中旬~3月上旬 8月中旬~9月上旬	1単位あたり15		×		外国において、学校教育における12年の課程を修了したもの若しくはこれに準じるもので文部科学大臣の指定する者又はこれと同等以上の学力があると認められる者
私立	青森中央学院大学	日本語学習と日本文化・地域交流が体験できる研修プログラム	青森県 Tel: 017-728-0131 Fax: 017-738-8333 http://www.aomoricgu.ac.jp international@aomoricgu.ac.jp	1.日本語 2.全学科目	日	12か月	10月	4月~8月	160		○	○	1.日本以外の大学の学部に所属し、日本語・日本文化に関する分野を専攻している者
私立	東京国際大学	日本研究プログラム	埼玉県 Tel: 049-234-6029 Fax: 049-234-3824 http://www.tiu.ac.jp/jsp/index.html	1.日本語 2.日本の政治、経済、文化、社会	英または日	4か月	4月 9月	春学期 9月1日~11月1日 秋学期 2月1日~4月1日	860		○	○	4年生大学の正規生 GPA2.5以上 Native English speaker iBT TOEFL 79点以上
私立	国際大学	夏期英語集中講座	新潟県 国際大学 教務事務室 Tel: 025-779-1498 Fax: 025-779-1181 http://www.iuj.ac.jp/iep/iep@iuj.ac.jp	・テキスト・スキルズ(「読み・書き」中心の授業) ・オーラル・コミュニケーション・スキルズ&リスニング・スキルズ(「聴く・話す」中心の授業)	英	8週間	7月	【国内】3月下旬~5月下旬 【国外】3月下旬~5月下旬	【本学大学院に進学するもの】500/全期間 【この短期研修のみ参加するもの】1,200/全期間		○		英語力が中級程度以上の方[インターネットTOEFL61点、ペーパーTOEFL500点、TOEIC 595点程度以上]を対象として、英語圏の大学院への進学や業務などで英語力の開発が必要な方々

種別	学校名	プログラム名	連絡先 都道府県 Tel: Fax: URL E-mail	授業科目 1.プログラム 2.プログラム以外でも 受講できる科目	教授言語 英=英語 日=日本語 「英、日」=両方 ()補助的に 使われる言語	修業期間	授業開始 月	応募期間	学費(単位:千円)	入学前予 約奨学金	宿舎の確保 ○:100% △:ある程 度 ×:なし	ホームス テイ	主な入学条件 1. 学歴、年齢 2. その他
私立	新潟産業大学	日本語短期留学セミナー	新潟県 Tel: 0257-24-1180 Fax: 0257-22-8241 http://www.nsu.ac.jp/iec/ iec@ada.nsu.ac.jp	1.日本語 2.大学が実施するすべての科目	日	5か月	4月 10月	12月下旬、6月下旬	125		○		高校卒業
私立	慶應義塾大学	別科・日本語研修課程	東京都 Tel: 03-5427-1614 http://www.ic.keio.ac.jp/nnc enter/j_index.html jpinquiry@info.keio.ac.jp	1.日本語科目、日本文化科目 2.国際センター講座	1.日本語(一番初級のレベルは英語で実施) 2.英語	1年間(2 学期制で1 学期は6ヶ月間)	春学期:4 月 秋学期:9 月	【春学期入学】9月上旬 ~10月上旬 【秋学期入学】3月中旬 ~4月中旬	685		△		1.高等学校卒業生、ならびにこれと同等以上の資格があると認められる者 ※対象とする学習者は、基本的に大学(学士課程)の在籍生や卒業生
		法務研究科(法科大学院) 国際交流	東京都 Tel: 03-5427-1778 Fax: 03-5427-1752 http://www.ls.keio.ac.jp/english/index-e.html lawjm@info.keio.ac.jp	1.必修科目を除く大学側が指定する科目	日、(英)	6か月 12か月	4月 9月	11月末 3月末	762.5/6か月 1525/12か月		×		1.研究科委員会が適切と認める者
		国外短期実習生受け入れプログラム	東京都 Tel: 03-5363-3662 Fax: 03-5363-3663 ic-shinanomachi@adst.keio.ac.jp	1.診療科での医療実習	英	3か月まで	随時	随時	2.1(1日あたり)		△		1.海外大学の医学部生(原則として最終年次)
私立	国際基督教大学	9月入学 1年本科学生	東京都 Tel: 0422-33-3700 Fax: 0422-33-3635 http://subsite.icu.ac.jp/admissions/SeptAdm/index.html sept-adm@icu.ac.jp	日本語を含む大学が実施するすべての科目(ただし、4月入学生を対象としたリベラルアーツ英語プログラムは除く)	英、日	通常は1 年	9月	第1期:1月上旬~1月下旬 第2期:2月上旬~3月中旬	1,509/年		△	○	海外の高校・大学で継続し2年以上教育を受けた者のうち、大学の正規課程に1年以上在学した者
		夏期日本語教育	東京都 Tel: 0422-33-3501 Fax: 0422-33-3631 http://subsite.icu.ac.jp/scj/scj/scj@icu.ac.jp	日本語の集中講座、日本文化の体験	日(英)	6週間	7月	12月から翌2月末まで	320 (大学寮に入る場合。検定料1万円、授業料23万円+学生寮8万円)		○ 希望者のみ	○	18歳以上で大学の学部生または大学を卒業している者(高校生は不可)
私立	芝浦工業大学	芝浦工業大学(学部) 科目等履修生 (2013年度実績)	東京都 Tel: 03-5859-7140 Fax: 03-5859-7141 http://www.shibaura-it.ac.jp/	1.大学学部が実施する特定の科目	英または日	6ヶ月	4月 9月	【4月開始】2月上旬 【9月開始】6月上旬	審査料:10 入学金:30 履修料:12(1単位につき)		×		1.高等学校を卒業した者、または見込の者、あるいはこれと同等以上の学力を有する者。 2.教育職員免許取得の為の科目等履修を希望する本学以外の大学または短期大学の学生及び本学を含む大学または短期大学を卒業した者。
		芝浦工業大学(大学院) 科目等履修生 (2013年度実績)		1.大学大学院が実施する全ての科目	英または日	6ヶ月	4月 9月	4月開始:2月上旬 9月開始:6月上旬	審査料:10 入学金:30 履修料:12(1単位につき)		×		1.大学を卒業した者 2.本学大学院理工学研究科委員会において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

奨学金制度・授業料減免制度のある大学・大学院・短期大学一覧（抜粋） 2014年3月更新

- 国公立の大学、大学院及び短期大学が実施する奨学金制度・授業料減免制度で、私費外国人留学生の一般応募が可能なものです。
- 外国人留学生のための制度も、全学生対象で私費外国人留学生も応募可能な制度も、いずれも掲載しています。
- 特定校（協定校、提携校等）からの学生のみが応募可能なものは記載していません。
- 国および日本学生支援機構が実施する奨学金制度は記載していません。
- 大学・大学院、短期大学の順に記載しています。それぞれの中では、国立、公立、私立の順とし、さらに北から順に記載しています。
- 文部科学省や民間団体等による奨学金制度については、当機構発行の「日本留学奨学金パンフレット」をご参照ください。「日本留学奨学金パンフレット」は次のサイトに掲載しております。
http://www.jasso.go.jp/study_j/scholarships_sfisij.html
- 交換留学制度を対象とした奨学金については、在籍大学の留学・国際交流担当部署にお問い合わせください。

(補足)

2. 大学名：特定の学部や研究科の制度の場合は、学部・研究科名を大学名の後ろに括弧書きで記しています。
2014年度の実施内容が未定で掲載内容が2013年度実績となる場合は、大学名の後ろに(2013年度実績)と記しています。
4. 制度の種類：奨学金、奨学金【貸与制】、入学料減免、授業料減免
5. 「留」：外国人留学生専用の制度
「全」：出身国・国籍を問わない制度(日本人学生、外国人留学生共に対象)
6. 対象学年：J：別科生、A：短期大学士、B：学士課程、R：研究生、Ad：専攻科生、M：修士課程、D：博士課程、
P：専門職学位課程、MD：前期後期一貫制の博士課程

1. 学校種別	2. 大学名	3. 制度名	4. 制度の種類	5. 対象	6. 対象学年	7. 支給額または減免率	8. 募集人数	9. 申込時期	10. 入学前予約制度
国立	小樽商科大学	小樽商科大学後援会助成金による奨学金	奨学金	留	B1-4、M1-2、D1-3、P1-2	2万5千円/月	未定	入学後	無
		グリーヒル留学生奨学金	奨学金	留	B1-4、M1-2、D1-3、P1-2	2万円/月	1名	入学後	無
		小樽商科大学授業料免除及び徴収猶予	授業料減免	全	B1-4、M1-2、D1-3、P1-2	50%減免、100%減免	未定	入学後	無
国立	帯広畜産大学	帯広畜産大学基金育英奨学金(2013年度実績)	奨学金	留	B、M、D	2万円/月	4名	入学後	無
		帯広畜産大学授業料免除(徴収猶予)制度(2013年度実績)	授業料減免	全	B、M、D	半期分授業料の50%または100%減免	前期及び後期160名程度	入学後	無
		帯広畜産大学外国人留学生特別選抜制度(2013年度実績)	奨学金	留	M、D	8万円/月+入学金・授業料免除	5名	入学後	無
国立	北海道大学	北海道大学私費外国人留学生特待プログラム制度	検定料減免 入学料減免 授業料減免	留	D	100%検定料減免 100%入学料減免 100%授業料減免	未定	1~3月 7~9月	有
		北海道大学中国政府派遣留学生	授業料減免	留	R、M1-2、D1-3	100%授業料減免	未定	11月中旬~2月末	有
		北海道大学入学料免除制度	入学料減免	全	B、M、D、P	100%、50% (選考の上決定)	選考基準を満たした者	入学手続き時	無
		北海道大学授業料免除制度	授業料減免	全	B、M、D、P	100%、50%、25% (選考の上決定)	選考基準を満たした者	入学後 ※大学院入学者については、入学前に申込	無
		北海道大学英語プログラム支援事業	奨学金 渡日一時金	留	M、D	奨学金 6万円/月 渡日一時金 10万円	1プログラムにつき上限5名	入学前	有
		HAT奨学金	奨学金	全	P	40万円	入学試験成績優秀者2名	入学前	無
		HOPE奨学金	奨学金	全	P	40万円	入学試験成績優秀者4名程度	入学前	無
		リサーチプログラム奨学金	奨学金	全	P	5万円	20~25名	5月下旬	無
		HOPS奨学金	奨学金	全	P	25万円	2名	8月中旬	無
		会計専門職大学院における成績優秀者に対する入学料免除	入学料減免	全	P	100%免除	成績優秀者2名	合格者の中から通知	有
		会計専門職大学院における成績優秀者に対する授業料免除	授業料減免	全	P	100%免除	成績優秀者2名	合格者の中から通知	有

1. 学校種別	2. 大学名	3. 制度名	4. 制度の種類	5. 対象	6. 対象学年	7. 支給額または減免率	8. 募集人数	9. 申込時期	10. 入学前予約制度
国立	北海道大学	高桑榮松奨学基金	奨学金	全	B、M、D	10万円	3～4名	12月上旬～1月上旬	無
		音羽博次奨学基金	奨学金	全	B、M、D	15万円	日本人10名以内、外国人留学生10名以内	6月上旬～8月上旬	無
		博士後期課程学生に対する学修支援(工学院)(2013年度実績)	授業料減免	全(ただし、国費留学生、政府派遣留学生等は対象としない)	D	100%減免(授業料相当のRA給与もしくは奨学金を支給)	選考基準を満たした者	5月及び10月	無
		リーディングプログラム奨励金	奨学金		D	15万円または20万円/月	条件に応じて変動	出願時または入学後	無
		リーディングプログラム外国人特別選抜	検定料免除	留	D	100%免除	4名程度	出願時	無
		北海道大学(大学院水産科学院・水産学部)ジャックス奨学寄附金私費外国人留学生奨学金	奨学金	留	B、R、M、D	2万円/月 半年間	5月募集2名 11月募集2名	年2回(5月、11月)	無
		国際広報メディア・観光学院奨学金制度	奨学金	全	M1	入学金全額	6名	合格通知後、およそ15日以内	有
		現代日本学プログラム奨学制度(2015年度～実施)	入学金減免 授業料減免(予定)	留	B	入学金全額 授業料全額(予定)	第1期募集12名 第2期募集8名(予定)	入学前	有
国立	北海道教育大学	授業料減免(2013年度実績)	授業料減免	全	B1-4、M1-2、P1-2	授業料の全額または一部減免	900-1000名程度	前期1-3月頃 後期8-9月頃	無
		入学金減免(2013年度実績)	入学金減免	全	B1、M1、P1	入学金の全額または半額減免	23名程度	入学手続き時	無
国立	室蘭工業大学		入学金減免	全	B、M、D	50%減免 100%減免	未定	入学手続き時	無
			授業料減免	全	B、M、D	50%減免 100%減免	未定	前期分4月、 後期分9月	無
		室蘭工業大学私費外国人留学生支援奨学金	奨学金	留	B、M、D	3万円/月	35名程度	10月	無
国立	北見工業大学	北見工業大学大学院学生奨学金	奨学金	全	M	4万円/月	各学年3名	入学後	無
		北見工業大学大学院学生奨学金	奨学金	全	D	3万円/月	対象者全員	入学後	無
		北見工業大学大学院博士課程奨学金	奨学金	全	D	納入することとなった入学金及び授業料に相当する額を上限とする	対象者全員	入学後	無
		北見工業大学学術振興・国際交流基金私費外国人留学生受入援助奨学金	奨学金	留	B、M、D	在学期間6カ月以内:6万円 在学期間6カ月超:12万円	対象者全員	入学後	無
		入学金免除制度	入学金減免	全	B、M、D	50%又は100%減免	予算額の範囲内	入学手続き時	無
		授業料免除制度	授業料減免	全	B、M、D	50%又は100%減免	予算額の範囲内	入学後	無
国立	旭川医科大学	旭川医科大学大学院学生に対する奨学金	奨学金	全	M、D	授業料の半額相当	支給要件を満たす対象者全	学期毎	無
		旭川医科大学学術振興後援資金大学院博士課程学生支援事業	奨学金	全	D1	25万円	1名程度	4月～5月頃	無
		旭川医科大学学術振興後援資金留学生支援事業	奨学金	留	B、M、D、R	3万円/月	2名程度	4月～5月頃	無
		旭川医科大学入学金の免除及び徴収の猶予	入学金減免	全	B、M、D	100%、50%又は一部減免	予算の範囲で可能な人数	学期毎	無
		旭川医科大学授業料の免除及び徴収の猶予	授業料減免	全	B、M、D	100%又は50%減免	予算の範囲で可能な人数	学期毎	無

1. 学校種別	2. 大学名	3. 制度名	4. 制度の種類	5. 対象	6. 対象学年	7. 支給額または減免率	8. 募集人数	9. 申込時期	10. 入学前予約制度
国立	弘前大学	弘前大学大学院振興基金	授業料減免	全	M、D	学則による授業料免除選考後、全額免除とならなかった者に対し、授業料の全額又は半額相当を減免又は給付	授業料全額換算で37名分程度	2月、7月 入学手続き時	無
国立	岩手大学	岩手大学授業料免除制度	授業料減免	全	B、M、D	25%、50%、100%	のべ1532名 (2013年度実績)	入学手続き時	無
		岩手大学入学料免除制度	入学料減免	全	B、M、D	50%、100%	のべ35名 (2013年度実績)	入学手続き時	無
		岩手大学大学院博士課程研究遂行協力員制度	授業料減免	全	D	0.5	定員74名	入学手続き時	無
国立	東北大学	授業料免除制度	授業料減免	全	B1-6、 M1-2、 D1-4、 P1-3	33%、50%、100%	予算勘案	入学後	無
		東北大学外国人留学生総長特別奨学生	奨学金	留	B、M、 D、P、R	授業料、入学料、検 定料相当額	50名程度	学士課程：入 学手続き時 その他：1月	有
		JR東日本奨学生(法科大学院)	奨学金	全	P1、P2	20万円/年	(募集はしてい ない)	各年度末の成 績優秀者(第1 年次・第2年 次)に給付す るため、申込 みは不要	無
		Takahashi Memorial Award	奨学金	留	D3、MD4	10万円/年	1名	1月	無
		長陵育英奨学金	奨学金	全	B	3万円/月(予定)	若干名	4月～5月頃	無
		星野奨学金	奨学金	留	M1、D1、 MD1	10万円/年	10名程度(予 定)	入学前	無
		秋田大学	秋田大学入学料免除及び徴収猶予	入学料減免	全	B、M、D	入学料の全額または半額	未定	入学手続き時
秋田大学授業料免除及び徴収猶予	授業料減免	全	B、M、D	授業料の全額、半額、3分の1	未定	前期分：2月頃 後期分：7月頃	無		
秋田大学奨学資金	奨学金【貸与制】	全	B、M、D	生活費(上限30万円)、入学料、授業料の額の一時金	未定	随時	無		
秋田大学教育文化学部学生支援基金(教育文化学部)	奨学金【貸与制】	全	B1-4、 M1-4	入学料の2分の1(上限) 授業料の2分の1(上限)	未定	8月頃 1～2月頃	無		
秋田大学教育文化学部学生支援基金(教育文化学部)	奨学金【貸与制】	全	B1-4、 M1-4	生活支援金10万円(上限)	未定	随時	無		
秋田大学工学資源学部研究科外国人留学生奨学資金援助理工学部)	奨学金	留	B1-4、 M1-2、 D1-3	2万円/月	10名程度	5月頃	無		
秋田大学大学院工学資源学研究科科学術支援基金(理工学部)	奨学金	全	D1-3	5万円/月	2名	85月頃	無		
秋田大学大学院工学資源学研究科科学術支援基金(理工学部)	奨学金	留	D1-3	2万円/月	2名	85月頃	無		
国立	山形大学	授業料免除制度	授業料減免	全	J、B、M、 D、P、 MD	50%減免または 100%免除	制限なし 予算の範囲内 で免除者を決定	前期分： 新入学生は4 月上旬 在学学生は3月 中旬 後期分：9月中 旬	無
		入学料免除・徴収猶予制度	入学料減免	全	J、B、M、 D、P、 MD	50%減免	制限なし 予算の範囲内 で免除者を決定	入学手続き時	無
		山形大学学生支援基金奨学金	奨学金【貸与制】	全	J、B、M、 D、P、 MD	生活費補填の場合： 1万円を単位として 上限20万円 学費納付の場合：5 万円を単位として上 限30万円	制限なし 予算に達した 場合は募集中止	随時	無

1. 学校種別	2. 大学名	3. 制度名	4. 制度の種類	5. 対象	6. 対象学年	7. 支給額または減免率	8. 募集人数	9. 申込時期	10. 入学前予約制度
国立	宮城教育大学	宮城教育大学入学料免除制度	入学料減免	全	B1-4、M1-2	50%,100%	未定	3月	無
		宮城教育大学授業料免除制度	授業料減免	全	B1-4、M1-2	50%,100%	未定	3月、9月	無
国立	茨城大学	茨城大学国際交流事業育英奨学金	奨学金	留	B1-4、M1-2、D1-3	4万円/月	10名程度	6月頃	無
		茨城大学入学料免除(徴収猶予)制度	入学料減免	全	B1、B3、M1、D1	特別な事情がある場合で、本人からの申請により選考 入学料の全額又は半額を免除 正規生のみ対象	未定	入学手続き時	無
		茨城大学授業料免除(徴収猶予)制度	授業料減免	全	B1-4、M1-2、D1-3	経済的理由及び成績により選考 授業料の全額又は半額を免除 正規生のみ対象	未定	入学後	無
国立	群馬大学	群馬大学授業料免除制度	授業料減免	全	B、M、D	50%免除 又は 全額免除	未定	入学後	無
国立	横浜国立大学	横浜国立大学学術交流奨励事業私費外国人留学生奨学金	奨学金	留	B、M、D	30万円/年(半額を二回払い)	10名程度	4月上旬	無
		入学料免除	入学料減免	全	M1、D1	100%免除、50%減免	予算に応じる	合格発表後～入学手続き期間内	無
		授業料免除	授業料減免	全	B、M、D	100%免除、50%減免	予算に応じる	【新入生】 合格発表後～4月上旬 【在学生】 1月中旬～3月末日	無
国立	山梨大学	山梨大学入学料免除	入学料減免	全	B、M、D、P、Ad、MD	全額免除または半額免除 (選考による)	未定	入学手続き時	無
		山梨大学授業料免除	授業料減免	全	B、M、D、P、Ad、MD	全額免除または半額免除 (選考による)	未定	新入生:4月、9月 在学生:3月、9月	無
		山梨大学布能奨学金	奨学金	全	B、R、M、D、P	25,000円/月	10名程度	4月	無
国立	信州大学	伊藤奨学金(2013年度実績)	奨学金	留	B、M、D	2万円/月	1名	入学後	無
		ISSF奨学金(2013年度実績)	奨学金	留	B、M、D	2万円/月	1名	入学後	無
		しげる基金	奨学金	留	R、B、M、D	1万円までの医学書/年	希望者全員	10月頃	無
			授業料減免	全	B、M、D	50%減免 100%免除	未定	3月、9月	無
国立	新潟大学	新潟大学入学料免除・徴収猶予制度	入学料減免	全	B、M、D、P、MD	50%減免 100%減免	予算の範囲内	入学手続き時	無
		新潟大学授業料免除・徴収猶予制度	授業料減免	全	B、M、D、P、MD	50%減免 100%減免	予算の範囲内	入学後	無
		新潟大学学業成績優秀者奨学金制度	奨学金	全	B2-6	10万円(一時金)	各学部(医学部は学科)・各学年3人	入学後	無
		新潟大学修学支援貸与金制度	奨学金【貸与制】	全	B、M、D、P、MD	5万円～10万円	未定	4月又は10月	無
		新潟大学国際交流委員会事業私費外国人留学生への奨学事業	奨学金	留	B、M、D、P全年	3万円/月	10名	入学後	無
国立	筑波大学	筑波大学入学料免除制度	入学料減免	全	B1、M1、D1、P1、MD1	1/2または全額減免	未定	入学手続き時	無
		筑波大学授業料免除制度	授業料減免	全	B1-6、M1-2、D1-3、P1-3、MD1-5	1/3、1/2または全額減免	未定	入学後	無

1. 学校種別	2. 大学名	3. 制度名	4. 制度の種類	5. 対象	6. 対象学年	7. 支給額または減免率	8. 募集人数	9. 申込時期	10. 入学前予約制度
国立	筑波大学	筑波大学学生奨学金制度「つくばスカラシップ」学群英語コース留学生支援奨学金	奨学金	留	B1-4	6万円/月	未定	7月上旬 新入学希望者については、入学前(書類選考合格後)	有
		筑波大学学生奨学金制度「つくばスカラシップ」留学生支援奨学金	奨学金	留	B、M、D	学群:6万円/月 大学院:8万円/月	未定	入学後(7月上旬)	無
国立	長岡技術科学大学	授業料減免制度	授業料減免	全	B1-4、M1-2、D1-3、P1-2	50%減免、100%減免	未定	・前期(4月～9月)分 前年度3月中 ・後期(10月～3月)分 8月下旬～9月上旬	無
		長岡技術科学大学30周年記念奨学金	奨学金	全	B1-4、M1-2、D1-3、P1-2	前期または後期授業料の1/2	未定	入学後	無
国立	上越教育大学	上越教育大学くびきの奨学金	奨学金	全	B、M	8万円及び5万円(長期履修学生及び教育職員免許取得プログラム受講学生)	未定	入学後	無
		上越教育大学国際交流推進後援会外国人留学生奨学金	奨学金	留	B、R、M	5万円(年間1回)	10名	入学後	無
		上越教育大学授業料免除制度	授業料減免	全	B、M	100%又は50%免除	未定	入学後	無
国立	総合研究大学院大学	総合研究大学院大学授業料免除制度	授業料減免	全	MD1-5、D1-3	50%、100%	未定	新入生:入学 手続時 在学生:4月、10月	無
		総合研究大学院大学入学料免除制度	入学料免除	全	MD1、D1	1	未定	入学手続時	無
国立	筑波技術大学	国立大学法人筑波技術大学授業料等の免除	授業料減免	全	B1-4、M1-2	50%減免または100%減免 ・経済的理由による申請 ・成績が優秀であると認められる場合 ・私費外国人留学生である場合	未定	入学後	無
国立	お茶の水女子大学	平成26年度前期授業料免除 平成26年度後期授業料免除	授業料免除制度	全	B1-4、M1-2、D1-3	50%減免、100%減免	未定	学期ごと	無
国立	電気通信大学	入学料免除	入学料減免	全	B、M、D	100%入学料減免又は50%減免	予算の範囲内	入学手続き時	無
		授業料免除	授業料減免	全	B、M、D	100%入学料減免又は50%減免	予算の範囲内	入学後	無
国立	東京大学	授業料免除制度	授業料減免	全	B1-B6、M1-M2、D1-D4、P1-P3	50%、100%	未定	前期分:2月中旬～4月上旬(ただし、4月入学者は入学手続き期間～4月上旬) 後期分:9月中旬～10月上旬(ただし、10月入学者は入学手続き期間～10月上旬)	無
		東京大学外国人特別奨学金制度研究奨励費	奨学金	留	原則として当該年度に入学するM1、D1、P1、R	20万円/月あるいは15万円/月	受給者数が常時100名程度になるよう募集	入学時期(4月・10月)に合わせて適宜	原則無
		東京大学外国人留学生支援基金奨学金	奨学金	留	MDP、R	5万円/月	4月期:20名 10月期:10名	4月期:6月 10月期:11月	無
		東京大学スカラシップ 東京大学教養学部前期課程国際教養コース(PEAK:Programs in English at Komaba, the University of Tokyo)	奨学金	留	B1	12万6千円/月	10名以内	入学前	有

1. 学校種別	2. 大学名	3. 制度名	4. 制度の種類	5. 対象	6. 対象学年	7. 支給額または減免率	8. 募集人数	9. 申込時期	10. 入学前予約制度
国立	東京医科歯科大学	研究者養成コース進学学生対象奨学金	奨学金【貸与制】	全	B5-(医学系所属)	10万円/月	若干名	入学前(2月)	有
		研究者早期育成コース進学学生奨学金	奨学金	全	D1	8万円/月	若干名	入学前(12月-1月)	有
		小橋晶一奨学金	奨学金	全	D3-(本学医学部医学科出身)	3万円・5万円/月	若干名	入学後(4月)	無
		小林育英会奨学金	奨学金	全	B5(歯学科)B3(口腔保健学科)D(歯学系所属)	20万円/一括支給	若干名	入学後(1月)	無
		東京医科歯科大学私費外国人留学生特別研究奨励費給付制度	奨学金	留	D	8万円/月	5名	未定	未定
国立	東京外国語大学	平成26年度授業料免除制度	授業料減免	全	B、M、D	授業料の全額または半額免除	未定	入学後	無
		平成26年度入学料免除制度	入学料減免	全	B、M、D	入学料の全額または半額免除	未定	入学手続き時	無
		国際教育支援基金(学部・大学院)	奨学金	留	B、M、D	3万円/月→6か月間(予定)	25名程度(予定)	9~10月頃(予定)	無
		国際教育支援基金(長幸男)	奨学金	留	B3-4、M、D	8万円/月→12か月間(予定)	2名	4~5月頃(予定)	無
国立	東京学芸大学	学芸むさしの奨学金(学資支援)	奨学金	全	B1-4、M1-2	10万円又は5万円/当該学期	未定	春学期:2月末日 秋学期:8月末日	無
		学芸むさしの奨学金(緊急支援)	奨学金	全	B1-4、M1-2	15万円又は30万円/1事由につき	未定	採用月末	無
		授業料免除	授業料減免	全	B、Ad、M、D、P	半学期分授業料の1/2又は全額が免除される場合がある	未定	入学手続き時	無
		入学料免除	入学料減免	全	B、Ad、M、D、P	入学料の1/2又は全額が免除される場合がある	未定	入学手続き時	無
国立	東京芸術大学	東京芸術大学授業料免除及び徴収猶予制度	授業料減免	全	B、M、D	50%減免 100%免除	未定	入学後	無
国立	東京工業大学	授業料免除	授業料減免	全	B、M、D	50%、100%	予算の範囲内	入学後の各学期	無
		Konica Minolta Scholarship	奨学金	留	M1	入学料+授業料+月額15万円	1名	入学願書提出時	有
		Bridgestone/Tokyo Tech Scholarship	奨学金	留	M1	1年目:82万円/年 2年目:55万円/年	隔年で1名	入学願書提出時	有
		130周年記念博士進学エンカレッジ奨学金	奨学金	全	M2	月額5万円、修士修了前の6か月間	各専攻1名で計44名	4-5月頃	無
国立	一橋大学	一橋大学基金	奨学金	留	B1-4 M1-2 D1-3 P1-2	8万円/月	8名	入学後	無
		一橋大学基金 楽天銀行奨学金	奨学金	留	B1	10万円/月	1名	入学後	無
		一橋大学基金 三菱地所留学生奨学金	奨学金	留	B1-4 M1-2 D1-3 P1-2	8万円/月	2名	入学後	無
		一橋大学基金 新日鉄住金エンジニアリング アジア地域留学生奨学金	奨学金	留	B2-4	8万円/月	1名	入学後	無
		一橋大学基金 ブリヂストン・アジア地域留学生 奨学金	奨学金	留	B2-4	5万円/月	1名	入学後	無
		一橋大学授業料免除制度	授業料減免	全	B、M、D、P	半期分授業料の100%または50%減免	予算の範囲内	前期 4月上旬 後期 9月下旬~10月上旬	無